

OIEの獣医教育改善戦略

第150回日本獣医学会学術集会
 第4回獣医学教育改革委員会
 2010年9月17日 帯広畜産大学原虫研PKホール



2009年
 パリ・OIE

北里大学獣医学部教授 吉川泰弘

OIEを含む国際機関の提言

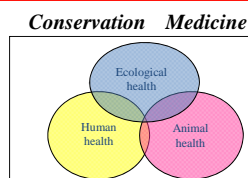
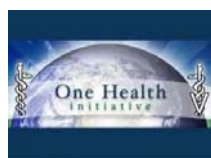


- ・21世紀に人類が解決していかなければならない課題：環境、食糧、感染症
- ・課題を克服するための原則と行動計画：マンハッタン原則として提言
- ・キーワード：One World One Health

マンハッタン原則 2004

West Nile熱、Ebola 出血熱、SARS, HPAI, サル痘、
BSEの流行はヒトと動物の健康の密接な関連を想起させる。

- ① ヒト、家畜、野生動物の健康を追求する統合的アプローチが必要 (One Health-One Medicine, One Health Initiative)
- ② 種の絶滅、生息域の劣化、汚染、外来種の侵入、温暖化等は地球の原自然を根本から変えつつある。新興・再興感染症はヒトのみならず世界の基底を支える生物多様性においても脅威となる (One World-Conservation Medicine)



マンハッタン原則 2004

マンハッタン原則及び行動計画を実行するために
期待される獣医師の役割と資質(人材の育成)

- ・OIEの事務局長は、これらの感染症統御体制を構築する上で基礎となる獣医師の教育(基礎・専門教育、卒後教育、社会人教育)が重要。
- ・これからの新しい教育で育った人材が、公共獣医事 (Veterinary Service)を担う者として、「**政策の監視、疫学調査、情報ネットワーク構築、官民のつなぎ役**」などを果たすことが求められているとした。

Bernard Vallat



OIEの獣医教育改善への提言

勧告：「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」会議の参加者は勧告する
考慮すべきこと

OIEの獣医学教育へのスタンス

- ・国際獣疫局(OIE)の指令は、「全世界における動物衛生と動物福祉の向上」である。
- ・獣医学教育の初期・生涯教育計画は、全世界における動物衛生と動物福祉の向上のためにOIEが勧告した基本的任務を最小限達成できるよう、必要に応じ改善しなければならない。

コアカリキュラム

- ・「モデルコアカリキュラム」は獣医師に必須とされ、世界的に認知される適格性を得るための基本的な技術と知識を包括する。しかし、OIE勧告の実行に必要なコア教育とは別に、各地域・国はさらに対処すべき特別の必須事項および要件を抱えている(多様性を認める)

OIEの獣医教育改善への提言

考慮すべきこと

人材育成に必要なこと

- ・獣医師に必要な情報交換能力、管理能力・指導力のような、追加的な知識・技術の習得
- ・適切な質の獣医学教育に要する高額な費用を賄うため、国・関係機関が共同で当る

質の保証の基準と必要性 (国際的な調和)

- ・獣医師の登録、認定、モニタリング手順の間の不一致、様々な地域・国における法定獣医組織に適用可能な法令の差、いくつかの国において公式の法定獣医組織 or 相当する機関が存在しないアンバランス(地域差、格差)。
- ・増加した地域統合と、その結果生じる獣医専門家の国境を超える移動(流動性)
- ・獣医事組織の評価のためのOIE手法(PVS手法)の一要素として、獣医師の初期・生涯教育の評価のための品質基準の確立に役立つ既存の教育評価手順・方法も適用する(多様性)

OIEの獣医教育改善への提言

モデルコアカリキュラムのスタンス

- ・OIEが求める課題を獣医師が遂行するために、獣医学教育機関は①OIEの勧告②特定の地域・国の状況を考慮にいれ、**初任時の適格性を獣医学士に保証するモデルコアカリキュラムを規定し実行すること。**
- ・それらには、統治、獣医法令と基本的管理についての知識を含む。
- ・適格性は特定疾病の専門的知識よりも、**複雑な状況に対する解析と適応の能力に焦点を合わせる**
- ・世界獣医師連盟、他の獣医療専門組織は、OIEの協力を得て、獣医学初期教育・生涯教育のカリキュラムがOIE勧告を満たしながら世界における公衆衛生、食品安全および越境性疾病の予防と緩和に係る保障措置に対する**社会的期待にどうしたら沿うことができるかを検討する。**

OIEの獣医教育改善への提言

獣医当局などの役割

- ・OIE基準と3R原則に従った動物福祉に係る**適切な管理と獣医師の監督を条件に**、研究、試験および教育における**生きている動物の継続的活用**を支持すること。**(動物実験)**
- ・国の全ての領域の動物群がサーベイランスの連携網に含まれるようにするため、学生の一部が地方で働くことに自信を持つための**動機付けを行うこと。**
- ・獣医事組織の実績評価のためのOIE手法(PVS手法)の基準を考慮に入れて、管轄区域における獣医師の生涯教育を評価するための計画を策定し実行すること。
- ・獣医法定組織は高品質の教育計画(認定された教育認証組織によって認定された計画、or OIEによって勧告されたモデルコアカリキュラムを満たす)を修了した**獣医師のみを採用することで、認定された獣医師による国の獣医事組織の品質を向上させるよう奨励すること。(公務員獣医師)**

OIEの獣医教育改善への提言

獣医学教育機関(獣医大学等)は、(コアカリの内容)

- ・動物衛生、獣医疫学、公衆衛生(人獣共通感染症、食品の安全性、食の安全保障)、生産、経済と貿易、社会的便益を提供する**伴侶動物・競技・娯楽用動物獣医療、動物福祉**や**生物多様性保護**等の社会的価値に関する分野の獣医学の初期教育・生涯教を強力に支援する。
- ・獣医学士が科学の進歩、世界情勢と緊急的要請を理解できるようにするため関連する**基礎科学分野の教育**を維持・発展させる。また、公衆衛生、食料生産、生物多様性あるいは環境衛生に影響を及ぼす**野生動物と水生動物の疾病、疾病制御方法、動物分類学**に関する理解を教育に組みこむ。
- ・動物薬および動物用ワクチンの適正使用に関する獣医師教育を強化する。

OIEの獣医教育改善への提言

続き

- ・モデルコアカリキュラムの中に**コミュニケーション、専門分野を超えた協力ならびに協同作業訓練**を組み込み、**リスク解析**を含む技術的問題の複雑さを獣医師が素人用語で情報伝達できるようにする。
- ・獣医学教育機関は、必要に応じて、初期教育および生涯教育における**遠隔教育のための新しい情報技術**の活用を推進し実行する。
- ・中核的獣医師の十分な数が地方で働くために**教育と援助**を受けられるようにすること。
- ・先進国の獣医学教育機関は、**発展途上国の教育機関を支援**することの重要性を認識すること。また、関連する組織や援助資金供与者は、OIE指針に従ったそれらの計画に対して**十分な資金援助**を行わなければならない。
- ・経験を積んだ臨床家と接触する初期獣医学教育と訓練、畜主との関係を含む**獣医師の日常活動の訓練のため業務管理を通じた新たな学士のための規定**を作成する(参加型実習?)。

OIEの獣医教育改善への提言

OIEの役割

- ・OIE、世界獣医師連盟、その他の国・地域・国際的な獣医団体は、獣医活動の社会全体における重要性について一般大衆の認識がどれだけ改善したかを調査し、「世界の公益(Global Public Good)」として獣医学の初期・生涯教育にもっと資金援助する必要性を**政府・国際的援助資金供与者に納得させること**。
- ・研究所間連携(twinning)の構想を広げ、先進国および発展途上国の獣医学教育機関、その他の関連組織の間の連携計画に対する勧告を用意すること
- ・関連する既存の**各国 or 国際的な獣医学教育評価システムと方法を用いて**、OIE PVSのような**仕組みの開発を検討する**。妥当な評価システムが利用されていない場合、適切な初期・生涯教育に基づく初任時の品質評価、経験を積んだ国の獣医組織要員の品質評価を支援する。

OIEの獣医教育改善への提言

続き

- ・システムが未だ存在しない場合、OIEは卒業が登録や免許の資格となる仕組み、獣医療専門家の国境を越えた機動性が可能な地域全体に受け入れられる基準に従い、可能な限り適切な外部監査の後で、地域認証の対象となる獣医学教育機関のリストを作成する。このため、獣医法定組織の地域連合 or 委任された教育認証当局からなる組織の設立を奨励する。
- ・OIEは、研究所間連携についての現在の構想を広げ、先進国および発展途上国の獣医法定組織 or OIE陸生動物衛生規約を満たす同等の組織の間の連携計画についての勧告を用意する。
- ・OIEは、国の獣医当局、獣医学教育機関およびその他の適格なグループが、関連する供与者と協力し、**認定された証拠に基づく獣医学教育を発展させ、とくに、世界規模における社会への獣医療の貢献を特定し評価するために役立つ方法論を確立することを奨励する**。

OIEの獣医学教育改善戦略

全世界における動物衛生と動物福祉の向上 (One World One Health)



「世界の公益 (Global Public Good)」として獣医学の初期・生涯教育

獣医教育システム (格差)	評価方法 (適応の多様性)
かなり出来ている国 (先進国) ↑	カリキュラムの最適化 評価のハーモナイゼーション 国際的な獣医学教育評価システム
中等度の国 ↑	モデルコアカリキュラムの作成 学士の質保証 獣医教育改善の評価
不十分な国 (途上国) ↑	PVSの適用、ギャップ分析 改善計画と実行、OIEによる再評価 (OIE陸生・水生動物コードの適応、実行)
ほとんどない国	教育機関の認証、リスト作成

World Veterinary Year



[Vet2011 in the World Events of Vet2011](#)



24 January 2011

Official Opening Ceremony
of the World Veterinary
Year Versailles - France

From 12 May 2011 to
16 May 2011

**World conference on
veterinary education**

VetAgro Sup - Campus
Vétérinaire de Lyon - France

From 10 Oct. 2011 to
14 Oct. 2011

International Closing
Ceremony of the World
Veterinary Year Cape Town -
South Africa

日本の対応

全国協議会提案

- ・国立大学の再編統合に関しては、共同学部等として現実に動き出した
共同学部:31単位の互換(北大、帯広)
共同学部:山口、鹿児島(北大・帯広をモデル、2010年3月委員会スタート)
大学間連携(岐阜、鳥取:学生移動を伴う実習の開始)
- ・コアカリ、共用試験、参加型実習への対応、第三者評価など
現在の獣医教育をめぐる問題は国公立に共通する課題が多い
- ・入学定員、設置基準等についても共通の課題である
統一して、全国協議会では午前中に必要な範囲での大学の報告、関連委員会の報告・質疑等、午後に必要な議論を行う

獣医学教育の改善・充実のために全国協議会に専門委員会を常設する

コアカリ委員会(すでに文科省の予算で動いている)

共用試験準備委員会(調査委員会の答申を受け、全国協議会で承認された。

来年度の文科省予算)

参加型実習委員会:ハーモナイゼーションとガイドライン作成

阻却体制確立までのロードマップ、社会への声明など

第三者評価のための委員会:獣医師会に委託したままストップ